

第 39 回建設業経理士検定試験 1 級 原価計算

〔第 1 問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。

問 1

建設業における原価計算の対外的な目的として、適正な
工事価額の算定がある。具体的には、開示財務諸表作成
目的、受注関係書類作成目的、関係官公庁提出書類作成
目的がある。建設業原価計算は、財務諸表作成に必要な
適正な原価を提供することを目的として実施される
。また、典型的な競争的受注産業である建設業では、工
事請負を成立させるまでにかなりの企業努力を費すから
、それに関係する書類作成と事前原価の算定とは、密接
不離の関係にある。さらに、建設業は公共事業との関連
が深いため、特有の調査資料等の報告が要求される。

問 2

特殊原価調査とは、財務会計機構のらち外において、随
時断片的に行われる原価の統計的、施術的計算ないし調
査である。特殊原価調査は、将来の経営活動を選択する
経営意思決定に関する分析と調査を行うことで、意思決
定に役立つ原価情報の提供を目的とし、事前原価あるい
は未来原価といった特殊原価を用いることが特徴である
。建設業原価計算では、新材の建設資材を採用するか否
かの採算計算、内製部品を外部購入するか否か、新型建
設機械に取り替えるべきか否かのための検討資料作成な
ど、さまざまな意思決定の判断に活用すべきである。

〔第2問〕

記号（A又はB）

1	2	3	4	5	6	7
A	A	B	A	B	B	A

〔第3問〕

問1

8,085,500 円

問2

273,980 円

問3

2,220 円 記号（A又はB） B

〔第4問〕

問1

記号（ア～カ） エ

問2

1,350,000 円 記号（X又はY） X

問3

2,501 個以上

問4

550,000 円 記号（X又はY） X

〔第5問〕

問1

完成工事原価報告書		
自 20×0年10月1日		
至 20×0年10月31日		
		X建設工業株式会社
		(単位：円)
I. 材料費		1,458,100
II. 労務費		1,256,800
(うち労務外注費	396,500	)
III. 外注費		456,500
IV. 経 費		854,750
(うち人件費	494,950	)
完成工事原価		4,026,150

問2

1,021,000 円

問3

① 重機械部門費予算差異	9,950	円	記号（A又はB）	A
② 重機械部門費操業度差異	10,100	円	記号（同 上）	B